

【インフラメンテナンス国民会議 近畿フォーラム 2019 の活動報告】

<開催日> 令和元年5月30日、31日の2日間

<開催場所> 花博記念公園鶴見緑地内 ハナミズキホール・花博記念ホール

<展示内容>

- ①低濃度 PCB 汚染物の該当性判断基準
- ②PCB 汚染物の処分期限
- ③塗装塗替え時における調査の流れ
- ④PCB を含有する塗膜くずの取り扱い
- ⑤塗膜の各層毎の鉛分析 (SEM-EDX 分析)
- ⑥塗装塗替工事における鉛の拡散予測計算例 など

<来場者数> 2日間来場者数 5362名

<出展報告>

当センターのブースには2日間で述べ50名(ご名刺交換)の方に来場いただきました。業種別では主に建設・土木コンサルタント、塗装施工業者、土木工事、道路保全業者、自治体関係者であり、多くは大阪府、兵庫県の企業でしたが、東京都、新潟県、岡山県、山口県からの来場もありました。

来場者の方からの質問としては、分析費、分析納期をはじめ、塗膜に関連する法規制や平成31年3月に設定された低濃度PCB汚染物の判断基準についてであり、関連法規制や塗膜くずの処理フローを整理したご案内のチラシが好評でした。

また、今回の出展で紹介した塗膜の各層毎の鉛分析(SEM-EDX分析)や、塗装塗替工事における鉛の拡散予測計算に興味を示すコンサル設計者の方もあり、「簡易な拡散シミュレーションが安価に実施できるのであれば技術提案したい」との声も聞かれました。

